

**第 24 回(2011 年度)**  
**名古屋大学年代測定総合研究センターシンポジウム**  
**プログラム**

\* 変更になる場合があります。

日 時:2012 年 1 月 12 日(木)9:30~17:45(受付開始時間:9:00)  
:2012 年 1 月 13 日(金)9:00~16:00(受付開始時間:8:45)

場 所:名古屋大学 野依記念学術交流館

**【2012年1月12日(木)】**

09:30~ 開会の挨拶

**【センター施設報告】**

(座長:今山武志)

09:30~09:45 名古屋大学タンデトロン AMS<sup>14</sup>C システムの現状と利用(2011)  
中村俊夫(名大・年測センター)

09:45~10:00 CHIME の現状と利用  
加藤文典(名大・年測センター)

**【H23 年度 新研究創成経費研究報告】**

(座長:中村俊夫)

10:00~10:15 微量炭素年代測定法の開発とその応用  
—琵琶湖の淡水リザーバー効果の変遷と古環境復元への応用—  
宮田佳樹(名大・年測センター)

10:15~10:30 モナザイトの挙動に基づくヒマラヤ花崗岩類の形成プロセスの解明  
今山武志(名大・年測センター)

10:30~10:45 (休憩)

**【一般講演 セッション1】**

(座長:田中 剛)

10:45~11:00 名古屋の大気中浮遊塵に含まれる福島第一原子力発電所由来の放射性核種  
小田寛貴・池田晃子(名大・年測センター)・張 子見・高橋成人・篠原 厚(阪大院・理)・齊藤 敬(阪大・安管)

11:00~11:15 年代測定センターと高大接続  
—教養教育院と e-Learning による教材開発の経過報告—  
渡辺武志・竹内史央・曾我雄司 (名古屋大学教育学部附属中・高等学校)・川本恭平(名大・情報文化)

11:15~11:30 立山カルデラの形成と深層崩壊の歴史  
野崎 保((株)アーキジオ)・菊川 茂(立山カルデラ砂防博物館)・小嶋 智(岐大・工)

11:30~11:45 深部花崗岩中の透水性亀裂と充填鉱物—産状と形成プロセス—  
吉田英一(名大・博物館)・石橋正祐紀(原子力研究開発機構)・南 雅代(名大・)

年測センター)

11:45～13:00 見学会及び昼食(11:45～12:30の間は年測センターでは、見学会を開催致します)

### 【特別講演1】

(座長:加藤丈典)

13:00～14:00

名古屋大学が創案した CHIME 年代測定  
鈴木和博(名大・年測センター)

### 【一般講演 セッション2】

(座長:鈴木和博)

14:00～14:15

中国アルタイ造山帯のデボン紀及びペルム紀の CHIME モナザイト年代  
榎並正樹(名大院・環境)・加藤丈典(名大・年測センター)・鄭常青(吉林大学)

14:15～14:30

サブミクロン CHIME 年代測定法の開発  
渡邊正和(名大院・環)・加藤丈典(名大・年測センター)

14:30～14:45

EPMA 定量分析における補正計算モデルの評価  
加藤丈典(名大・年測センター)

14:45～15:15

討論

15:15～15:30

(休憩)

### 【特別講演2】

(座長:中村俊夫)

15:30～16:30

考古学における高精度年代測定とその展望  
今村峯雄(歴博)

### 【一般講演 セッション3】

(座長:宮田佳樹)

16:30～16:45

古墳出現期の土器付着炭化物の  $^{14}\text{C}$  年代—愛知県・石川県の古式土師器の測定  
結果に見られる「不自然な空白期間」について—  
小田寛貴・中村俊夫(名大・年測センター)・木野瀬正典(波田中)・赤塚次郎(愛知  
埋分)・山本直人(名大・文)

16:45～17:00

日本産樹木年輪の炭素 14 濃度測定および IntCal09 との比較検討  
吉光貴裕(名大院・環)・中村俊夫(名大・年測センター)

17:00～17:15

樹木年輪中放射性炭素 14 濃度測定による 7-8 世紀の太陽活動周期の研究  
三宅美沙・永治健太郎・増田公明・村木 綏(名大・太陽地球研)・中村俊夫(名大・  
年測センター)

17:15～17:30

$^{14}\text{C}$  年代から暦年代への較正に関連する諸問題  
中村俊夫(名大・年測センター)・増田公明・三宅美沙・永治健太郎(名大・太陽地  
球研)・吉光貴裕(名大院・環)

17:30～17:45

討論

18:00～20:00

(懇親会)

【2012年1月13日(金)】

【一般講演 セッション 4】

(座長:小田寛貴)

- 09:00～09:15 微量グラファイト化ラインの検討  
加藤ともみ(名大・理)・南 雅代・中村俊夫(名大・年測センター)
- 09:15～09:30 同一古人骨の部位によるアミノ酸組成, ならびに<sup>14</sup>C年代の比較  
坂田 健(名大院・環)・瀧上 舞(東大院・新領域)・南 雅代・中村俊夫(名大・年測センター)・長岡朋人・平田和明(聖医大)
- 09:30～09:45 加速器質量分析計を用いた鉄製遺物の<sup>14</sup>C年代測定  
近藤宏樹(名大院・環)・中村俊夫(名大・年測センター)
- 09:45～10:00 前・中期青銅器時代のアナトリア地域における放射性炭素年代測定  
大森貴之(東大・新領域)・中村俊夫(名大・年測センター)
- 10:00～10:15 ベルリン・アジア美術館所蔵のキジル将来壁画の放射性炭素年代  
中川原育子(名大・文)
- 10:15～10:30 (休憩)

【特別講演3】

(座長:中村俊夫)

- 10:30～11:30 レバノン共和国所在のローマ時代城壁地下墓の修復  
西山要一(奈大・文化財)
- 11:30～13:00 昼食

【一般講演 セッション 5】

(座長:奥野 充)

- 13:00～13:15 中世鎌倉古人骨研究の総括(まとめ)  
南 雅代(名大・年測センター)
- 13:15～13:30 北海道利尻島の泥炭湿地に飛来する鉛の供給源の変遷  
河野麻希子(名大院・環)・谷水雅治(JAMSTEC・高知)・浅原良浩(名大院・環)・南雅代(名大・年測センター)・細野高啓(熊野大院・先端機構)・中村俊夫(名大・年測センター)
- 13:30～13:45 チベット湖沼堆積物の年代決定とモンスーン活動の復元  
渡邊隆広(東北大・環)・奈良郁子(東北大・理)・Nathalie Fagel (University of Liege, Belgium)・松中哲也(東海大・海洋)・中村俊夫(名大・年測センター)・箕浦幸治(東北大・理)・Liping Zhu・Junbo Wang (CAS, China)・掛川 武(東北大・理)・西村弥亜(東海大・海洋)
- 13:45～14:00 チベット南部に分布する片麻岩と花崗岩の年代論  
Simon R. Wallis (名大院・環)
- 14:00～14:15 黒部峡谷サル穴産ニホンザル化石の炭素14年代と化石化過程  
柏木健司・瀬之口祥孝(富大院・理学)・阿部勇治(多賀町立博物館)・吉田勝次(日本ケイビング協会)

14:15～14:30 (休憩)

【一般講演 セッション 6】

(座長:南 雅代)

- 14:30～14:45 ”しんかい 6500”潜航で採水したパラオ海溝の海水中  $^{14}\text{C}$  濃度について  
坪井辰哉・和田秀樹(静大・理)・北里 洋・藤岡換太郎(JAMSTEC・横須賀)・中村俊夫(名大・年測センター)
- 14:45～15:00 海水から砂層中への  $\text{CaCO}_3$  沈殿は  $\text{CO}_2$  を遊離しない:石灰質砂岩の C, O, Sr 同位体からの証拠  
南 雅代・田中 剛(名大・年測センター)・竹内 誠(名大院・環)・三戸彩絵子(RITE)
- 15:00～15:15 九重火山の噴火史研究(レビュー)  
奥野 充(福大・理)・長岡信治(長大・故人)・小林哲夫(鹿大院・理工)
- 15:15～15:30 文理融合型学際研究による古筆切の史料的価値の判定  
—総括と展望について—  
小田寛貴・中村俊夫(名大・年測センター)・池田和臣(中大・文)・増田 孝(愛知文教大・人文)・安 裕明(多賀高)・坂本昭二(龍谷大・古典籍センター)・吉田滯代(名大・物国センター)・吉澤康和(広大・名誉教授)
- 15:30～15:45 紙の地球科学的分析と編年  
鈴木和博(名大・年測センター)
- 15:45～15:55 全体質問
- 15:55～16:00 閉会の挨拶